

政治とメディア、SNS

西田亮介

日本大学危機管理学部教授@公明党大阪研修会

■ 自己紹介

- 社会学者。博士（政策・メディア）。政治とメディアの関係を研究。東大非常勤講師、東京科学大特任教授等を兼任。
- 著書に『ネット選挙』（角川書店）『メディアと自民党』（KADOKAWA）『コロナ危機の社会学』（朝日新聞出版）等多数。近刊に安田洋祐阪大教授との共著『日本の未来、本当に大丈夫なんですか会議』（日本実業出版社）等。

■ 「SNS 選挙」？

- 2024 年の国、地方の選挙で「意外」な結果が乱発。各社が「SNS 選挙」と見出しを取る。
 - ◇ SNS 選挙「動画再生数稼ぎ」規制論 自民党が論点整理 - 日本経済新聞
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUA051GZ0V00C25A2000000/>
 - ◇ 兵庫知事選巡り、PR 会社側捜索 SNS 選挙運動、報酬疑い：朝日新聞
<https://www.asahi.com/articles/DA3S16145257.html>
 - ◇ 自民、SNS 選挙対策協議 偽情報への罰則強化論点 「表現の自由」制約の懸念も <https://www.sankei.com/article/20250206-AFYB75JNWFLIDLBD57ZE3IQVBU/> @Sankei_news より
- しかし、東京都知事選（実は現職圧勝。ステルス選挙運動）、兵庫県知事選（実は不思議な構図、得票率減少、二馬力選挙）、名古屋市長選挙、衆院総選挙、構図がかなり違う。構図の読み解きが重要。
- 「選挙ハック」（制度の想定していない使い方）と 2010 年代を通じた「発展」。

■ SNS とネット選挙、規制の論点と動向

- 電子メール規制の時代遅れ化。
- ネット投票を進めるべきか？
- 「他者の収益化」「二馬力選挙」と規制の可否。現実的？
- 政局のなかで、SNS の得意な政党、不得意な政党に分裂。合意可能？
- 総務省の責任。調査と評価、検討を実施すべき。

■ 石丸伸二氏と再生の道の構想をどうみるか

- 「2 期 8 年」論の流通と「政策がない」誤解⇒「地域政党として、広く国民の政治参加を促すとともに、自治体の自主性・自立性を高め、地域の活性化を進める」。東京都議会選（2025 年 6 月 22 日投開票）42 選挙区に 55 人を擁立
- すでに 490 人が応募。
- 公選法「違反」疑惑の影響と今後の展望。